

防犯インフォメーション

ひご 流言蜚語の氾濫に注意！！

東北地方太平洋沖地震発生後、被災地における犯罪情勢等について、根拠のないデマや不確かな情報が流出しています。不確かな情報を鵜呑みにしてあわてて行動せず、報道や行政機関のウェブサイト等の信頼できる情報源で真偽を確かめるなど、一人一人デマに惑わされないよう注意しましょう。



流言蜚語 確かな根拠のないうわさ。デマ。

《全国的に氾濫している流言蜚語の例とその実情》

犯罪に関するもの

被災地で強盗、窃盗が多発している。（ナイフを持った外国人）窃盗グループが横行している。

【実情】 被災地においては、被災した商店等から食料品の持ち去りや乗り物盗などは散発しているものの、窃盗グループが大挙して入り込んでいると思われるような事案はみられない。

被災地において支援物資の盗難が相次いでいる。遺体から金品を奪ったり、遺体を盗む者（外国人）がいる。

【実情】 被災3県において、このような事案に関する届け出、申告は確認されていない。

健康や安全に関し不安を煽るもの

（石油会社関係者からの情報として）製油所火災の影響で有害物質の含まれた雨が降る。

【実情】 当該石油会社は、「「LPガス」は家庭用のガスコンロ等でも使用されており、燃焼によって発生した大気が人体へ及ぼす影響は非常に少ないと考えている」と広報している。

某県の水道水に異物が混入しており危ない。

【実情】 当該自治体から内容を否定する公式発表がなされている。

* 上記事例は、警察庁の資料に基づき作成されており、必ずしも本県において氾濫しているものではありません。

